

③ 一般質問

9月議会の一般質問は6項目。通告を一番で提出したので、今回もトップバッターで行いました。

1 医療問題

ひばりが丘で、「一生懸命」を受取ってくれた女性からメールがきました。がん検診の対象年齢を下げ、市民の負担をなくしてもらいたい。ご自身の経験からの貴重なお便りでした。朝霞4市の検診対象年齢はみな同じなのですが、お隣の朝霞市は市民負担ゼロ。新座市のがん検診の受診率の低さ(20%台)を考えると無料化が妥当だと思いました。受診率を高め、早期発見につながる人を増やすことが市民の健康増進、医療費削減に繋がっていくはずだという質問でした。(市議会便りに掲載される予定です)

2 教育問題

小学校の低学年の水泳の授業で、先生が一人もプールに入ることなく着衣のまま指導している学校が市内にある。と、複数の保護者から相談があり、通告した上で質問しました。教育長は「ありえないことだ」「この議場で質問する前に、もしこうした事実があるとすればぜひ教育委員会に連絡いただきたいな」というふうな返事です。と答弁していましたが、市教委は学校の実態を親より知らないのだから、と改めて思いました。「いじめ」「生徒指導」「部活動」そして「水泳指導」。学校の実態を掴んでいないケースは今までも全国で数多くありました。「ありえない」という言葉で質問そのものを否定するのではなく、そういう実態を掴んだ上で何故こういうことが起きるのかを考えて欲しいところです。命にかかわる問題ですから、小学校の低学年の親は心配して当たり前です。何かあったらプールに飛びこめる先生であって欲しいし、プールの中で指導する先生であって欲しいと思います。

3 福祉問題

現在小学校6年生で車椅子を必要としている子どもたちが来年度には二中、六中へ進学する予定です。新座市が誇る、障がい者基本計画を推し進めていく上でも、公的施設のバリアフリー化、中学校にエレベーターを設置することはいいチャンスだと思うのですが、いかがですか。」という質問をしました。数年前、六中の大規模改修の時に、併せてエレベーターを設置すべきだと質問をしました。その時は、殆ど相手にされませんでした。しかし、今回は追加議案として突然このエレベーター設置(二中と六中)が現実になったのです。勿論、市長与党でもない僕の質問の結果、この事業が実現することになったとは思っていません。議員の質問である事業が行われるなどということは、普通ありません。まして、1校当たりおよそ5000万円の建設費がかかる事業ですから、市長の英断なのでしょう。欲を言えば、六中に関しては大規模改修の時に合わせてやっていたら、税金の節約になったであろうということです。いずれにしても、「障がい者基本計画」が一步前進したことは間違いありません。率直に喜ばうと思います。



空(手前)が背中に背負っているのがヘルパーです。このヘルパーがどんどん小さくなって、最後は普通に泳げるようになります。空は4種目泳げるようになりました。小学校の水泳指導にも必要だと思います。

4. 道路問題

嘗て、野寺の住民だった僕にとって、保谷・朝霞線の問題は見過ごせない大問題です。五中の脇にあった我が家も道路建設用地内にありました。野寺・道場地区はこの道路によって、生活圏が分断され、騒音や振動、排気ガスに半永久的に悩まされることとなります。市長は繰り返し、調布・保谷線(36m)の「受け皿論」を展開していますが、県境で受けようが、バス通りで受けようが、産業道路で受けようが、地域の住民は同じ苦しみを味わうこととなります。放射7号の完成によって、車の流れが分散されることも考えられるのですから、新座市民の命と暮らしを考えるのなら、県境で受けておくのが現状ではベストではないでしょうか。この道路は県道なのに埼玉県は野寺地区では市に五分の一を負担すること。いなげや前から産業道路までの道場地区では市が全額負担すること。いなげやから栗原の交差点までの県道は市道にすることなどを条件にしているのです。県道から市道になれば、数千万円という維持補修費をこれから毎年新座市が負担しなくてはなりません。こんな馬鹿な計画はないでしょう。現在進められている東久留米・志木線(1440mで54億)はたった数人の地権者の反対によって5年で完成する予定が、さらに最短でも5年以上かかることが分かっています。住民の7割以上が反対している保谷・朝霞線では、それ以上の反発があるのは目に見えています。財政難だと言いながら、住民が望まない大型道路を作っていくのはおかしい。語る会はこれからもそう訴えていきます。



テニスの市民大会。女子団体で優勝した教え子たち。中学生も上手くなっていったけど、おばさん達もかなり上手になりました。指導者がいれいせいかな？

一生懸命

担任として書いた「一生懸命」は20年間で3000号以上。後半の11年は毎日発行していましたから、我ながらよ「続いたものだと思います。議員として書いてこの「一生懸命」は6年目でやっと50号になろうとしています。この4年間は毎月発行しているのですが、書きたいことが多すぎて、書ききれない状態です。ありがたいのは、楽しみにしているよ！」と言ってくれる人がいること。これは学校時代と同じですね。感謝！



八石小学校の運動会で、川掃除の仲間とのスナック。二人とも、朝のひばりが丘駅で出会いました。僕の「一生懸命」を読み、川掃除に参加してくれたのです。今では家族ぐるみの付き合いになりました。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・音楽・読書。六中硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を10年間1度も休むことなく発行。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106